

# 女性部会新年会に参加

1月30日(土)、千葉市内ホテルにおいて千葉県自衛隊協力会連合会女性部会(会長 白井久美子氏)の新年会が開催され、河野県会長、八街・安房・船橋各支部長、八街支部会員及び県理事役が参加した。

会は千葉県防衛団体連絡協議会(県自衛隊協力会連合会、県隊友会、県自衛隊父兄会、県自衛隊援護協力会)と千葉市自衛隊協力会の共催で行われ、国会議員、県・市議会議員、市長、国会議員秘書、在葉部隊指揮官などが出席。会の前段では、吉成女性部会副会長の開会宣言、白井女性部会会長挨拶、豊田参議院議員祝辞に続き、猪口邦子参議院議員の講話(演題「国際情勢と日本の役割」)が行われた。

後段の懇親会は、白井会長の挨拶に続き、藤田陸自高射学校長、河野県隊友会会長、門山衆議院議員の祝辞、大田千葉県自衛隊援護協力会会長の乾杯で宴に入り、途中、佐渡四街道市長及び佐藤正久参議院議員秘書、宇都隆史参議院議員夫人の挨拶、寺尾下総教育航空群司令のハートニ力演奏もあり、賑やかに進行、最後に根守女性部会副会長が壇上上がった在葉部隊指揮官とともに中締めを行い、盛会のうちに終了した。



# 各地で支部総会を開催

◆四街道支部  
1月11日(月)、四街道市文化センターにおいて正会員46名の他、来賓多数を迎えて開催。引き続き、宇都隆史参議院議員を講師に迎え「日本の安全保障」と題した防衛講演会を行った。

◆夷隅支部  
1月24日(日)、新年会兼ねて総会(第4回)を御宿町内において正会員7名の参加で開催。支部長挨拶、支部活動予定等の審議後、懇親会に入り、和気あいあい、楽しく懇談した。なお、今年の「花見会」は、大多喜城近くの中央公園にて行う。また、新年会は夷隅支部地域が広範の為に、いすみ市、夷隅郡(御宿町、大多喜町)、勝浦市と会場を毎年順送りで行う。

◆沼南支部  
2月6日(土)、柏市内海陽荘において浜田穂積県議、阿比留市議を来賓に迎え、正会員21名が参加して開催。

◆成田支部  
2月20日(土)、成田市内において小泉成田市自衛隊協力会会長、小池正昭・五十嵐博文県議、安田千葉県成田地区事務所長等7名の来賓を迎え、正会員21名が参加して開催。議事終了後、安田成田地区事務所長による千葉県の募集状況特に成田地区の状況について説明をいただいた。席を変え、小山成田市議会議員から挨拶をいただき懇親会を開始。支部長による日本舞踊(黒田節)、高橋会員によるマジック演技等をはじめ、隊友会現況・将来に対する議論、若き日々の回顧に老後の問題等に話が弾んだ。



四街道支部総会・防衛講演会



夷隅支部懇親会

# 「沖風」慰霊祭に参列

日本海軍駆逐艦「沖風」列艦の慰霊祭が祥月命日となる1月10日(日)、晴天の中、午前9時から「沖風」列艦平和観音像前で勝浦市役所広報職員他関係者及び夷隅支部長以下3名が参列して、勝浦市川津港近くにある「津慶寺」住職により厳かに営まれた。

「沖風」は昭和18年1月東京湾口で潜水艦掃討作戦に従事中、同月10日、米潜水艦「トリガー」の雷撃により勝浦灯台南方8海里にて沈没、乗員154名中54名が戦死。戦後生き残りの方が自費で海の見える勝浦灯台近くに慰霊の観音像を建立した。夷隅支部は、この慰霊像の維持管理活動に昨年より参加している。

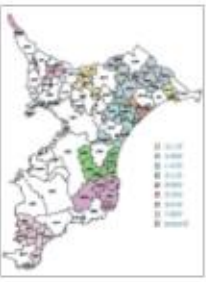


【夷隅支部長 高橋清三】

# 隊友千葉だより

平成28年3月号(No.42) 千葉県隊友会事務局

【事務所 開所時間】  
月・火・水・金曜日  
1000~1500 山田・内田理事役



〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096  
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

# 県隊友会通常総会のお知らせ

千葉県隊友会 正会員各位  
平成28年度千葉県隊友会通常総会は、次により開催することになったので通知します。

千葉県隊友会 会長 河野 美登

- 1 日時 4月20日(水) 14時~16時10分
- 2 場所 三井ガーデンホテル千葉(千葉市中央区中央1-11-1)
- 3 参加者 支部長等及び各支部長の指名する代理人(総会に参加しない会員は、支部長等及び代理人に議決権を委任したことになります。)
- 4 議案 第1号議案、第5号議案(概要は以下のとおり。)

◆第1号議案【平成27年度事業報告(案)】  
県主催で宇都隆史参議院議員を招いて防衛講演会を開催するとともに館山、木更津、習志野、山武東金、四街道及び印西の各支部が防衛講演会を実施した。

◆本部主催の防衛セミナー及び特別会員等防衛講話に会員及び特別会員が参加した。

◆県通常総会、防衛講演会及び各支部等総会時において国会議員及び自治体の首長、議員、有識者等と意見交換を行った。

◆県本部内に防災活動について検討するプロジェクトチーム(防災ボランティアPT)を設置し、災害情報協力員制度及び防災ボランティア組織の整備・強化の促進、防災資材の整備等について検討し、防災ボランティア体制を充実するとともに常総市災害ボランティア派遣の現地偵察・計画作成等を行った。

◆災害情報ネットワーク・災害情報協力員制度を維持し、自衛隊に協力した。

◆平成27年9月10日、鬼怒川堤防決壊・越水により甚大な被害を受けた茨城県常総市に19日から25日まで、会長以下、副会長、支部長・支部員、県理事役等延べ73名をもって災害ボランティアを派遣し、被災農家の泥土の除去等の復旧に当たり、大いに感謝された。

◆県自衛隊父兄会主催(千葉地本実施)の平成27年度千葉県自衛隊入隊予定者激励会を共催した。

◆習志野、市川及び千葉稲毛各支部長の協力を得て、招集訓練に参加した予備自衛官に対し講話を実施した。

◆公務死の賛助会員2名に対し、供花料・香典を贈呈した。

◆下志津駐屯地における自衛隊殉職隊員千葉県追悼式に会長、各支部長、事務局長及び県理事役総勢22名が参加した他、下総航空基地及び館山航空基地追悼式に会長、近傍支部長・会員及び県理事役が参加した。

◆副会長(海)以下、四街道・船橋・千葉若葉・市原・佐倉の各支部から総勢21名が参加、下志津駐屯地追悼式場「鎮の庭」の樹木剪定・清掃を行い、平成27年度自衛隊殉職隊員千葉県追悼式の実施に貢献した。

◆千葉県護国神社の春季及び秋季大祭前に会員有志延べ65名が参加、神社境内の清掃を行うとともに春・秋大祭当日、同じく延べ30名が交通統制の奉仕を行った。

◆各支部は、地域所在慰霊碑周辺の草刈奉仕及び慰霊祭に参加した。

◆各支部は、市教育委員会主催市民講座等の講師、地域の防犯指導、学童交通指導、清掃奉仕活動に協力した他、沼南支部は、手賀沼トライアスロン大会等を支援した。

◆会勢拡大プロジェクトチームで県内駐屯地・基地毎に近傍支部長等16名を入会促進会員に指定し、退職予定隊員を把握、入会勧誘を行った。

◆第21航空群司令及び館山支部会員支援のもと、70名(正会員59名、一般11名)が参加し、海自館山航空基地を訪れ、基地の歴史、海自航空装備に関する理解を深めた。

◆各支部においても、それぞれ部隊研修等を実施し、会員の識見の向上に努めた。

◆県ホームページを月1回を基準に更新、在葉部隊及び県隊友会の活動並びに会員の消息等を紹介した。

【第2号議案】平成27年度決算(案) (平成28年2月末現在)

◆収入 1千82万497円(当年度収入①~⑤)  
①554万7713円

◆前年度繰越額 527万2千784円 ②会費収入 341万1千600円 ③寄付金収入 86万7千376円 ④事業収入 79万5千509円 ⑤雑収入 47万3千228円

◆支出 535万293円

◆前年度繰越額 547万204円

【第3号議案】平成28年度事業計画(案) 1 方針

県隊友会は、県民と自衛隊のかけ橋として防衛意識の普及高揚に努め、国の防衛及び防災施策、自衛隊諸業務などに対する協力・支援、慰霊顕彰事業並びに地域の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に寄与する。

このため、公益目的事業及び収益事業の充実定着化を推進し、会活動の活性化及び会基盤の充実強化を図るとともに、会員の福祉と親睦のための事業を継続しつつ会の魅力化に努める。

特に、今年度も引き続き、会勢の拡大、県役員・支部長の後継者の確保等、内部態勢の充実に努める。

# 事務局からの連絡事項

- ◆県隊友会防衛講演会
  - ◎時期・場所 5月9日(月) 18時30分~20時 千葉市民会館大ホール(千葉市中央区要町1-1、JR千葉駅東口徒歩7分)
  - ◎講師 宇都隆史参議院議員
  - ◎入場無料 多くの方の参加を。
- ◆県隊友会ゴルフコンペ参加申し込み
  - ◎時期・場所 5月12日(木)、ムーンレイクGC茂原コース 電話0475-22-8317 受付7時30分から集合8時40分練習グリーン周辺
  - ◎競技要領 個人戦と団体戦(1チーム3~5名、1個支部で複数チーム可)
  - ◎利用料金 8千5百円+利用税
  - ◎参加費 3千円
  - ◎参加範囲 会員とその家族、友人、知人
  - ◎参加申し込み 努めて各支部毎、個人でも可(個人参加と支部チーム編成残は混合でチームを編成) 左記に氏名・生年月日・連絡先
  - ① メール Kanzo\_k@icoum.home.nippon.ne.jp(木更津支部・柏谷)
  - ② FAX(専用) 0438-1231
  - ③ 207(木更津支部・柏谷)
  - ◎ 県事務局にFAX又はメールでも可
  - ◎ 申し込み期限 4月24日(日)



## 2 主要事業

◆5月9日に県主催防衛講演会を実施するとともに支部総会や地域の各種会同等を活用して会員及び市民等を対象とした防衛・防災講演会を開催し、会員及び地域住民の防衛への関心の高揚に努める。

◆県本部内に引続き防災活動について検討する防災ボランティアプロジェクトチーム(防災P.T.)を設置し、災害情報協力員制度及び防災ボランティア組織の補備・強化の促進、県本部の防災協力・支援態勢の充実等について検討し、防災ボランティア体制の発展・充実を図る。

◆防災ボランティアの他に自衛隊・自治体の防災訓練への協力、防衛講話、自衛隊員へのカウンセリング等のボランティア事業に参加意志を有する会員を募り、ボランティア人材バンクに登録する。また、専門的な知識・技能を必要とするボランティア事業に参加を希望する会員の資格取得のための支援を行う。

◆自衛隊、地方自治体、町内会等が行う防災訓練及び国民保護法関連訓練に機会を求めて参加(研修)し、また、災害発生時の情報収集支援等に協力する。

◆3月の入隊者予定者激励会を共催・支援する。

◆千葉県に所在する陸・海・空各自衛隊・要員が国際貢献活動及び大規模災害派遣に従事する場合は、激励・慰問等の支援を実施する。

◆県内の駐屯地・基地及び部隊の実施する記念行事等に、よりの多くの会員が参加するとともに駐屯地・基地諸業務を支援する。

◆予備自招集訓練実施時期には、理事役又は支部長等による防衛講話の実施に努める。

◆公務及び病気死亡の賛助会員に対し、香典を贈呈するとともに殉職自衛隊員千葉県追悼式及び各

駐屯地・基地で行われる殉職自衛隊員追悼式に参列する。

◆下志津駐屯地殉職自衛隊員慰霊施設「鎮の庭」の剪定・清掃支援を実施する。

◆千葉県護国神社で行われる春秋の大祭のご奉仕を積極的に実施する。

◆各支部は、地区内(又は近傍)において行なわれる戦没者の慰霊顕彰行事等へ参加・協力するとともに、陸・海軍墓地、慰霊碑、忠魂碑等の清掃維持管理等の支援に努める。この際、玉串料を助成する。

◆各支部は、県内各地区で開催される各種の体育大会等に協力するとともに、市町村や町内会等が行う市民講座、防犯活動、学童交通指導、清掃奉仕活動等の地域活動に機会を求めて積極的に参加・協力する。

◆英霊にこたえる会、北方領土返還要求運動及び憲法改正運動等に協力する。

◆県本部内に会勢拡大策の検討及び実行のためのプロジェクトチーム(会勢拡大P.T.)を設置するとともに、各駐屯地・基地毎に近傍支部長等計19名を入会促進会員に指定し、駐屯地等退職事務担当者との連携及び「修親」誌等から退職情報入手し、退職予定者に対し、入会勧誘を行う。

◆正会員に対して隊友新聞を配付するとともに、特別会員には、隊友新聞及びティファックス等を配付する。この際、正会員には手配りの推進に努める。

◆隊友千葉だよりは、2ヶ月に1回を基準に発行し、努めて多くの会員に配付して会員相互の意思疎通を図るとともに会活動の周知を図る。また、各支部は、支部の活性化と意思疎通を図るため、支部だより等の発行に努める。

◆各支部は、年1回、支部会員を招集し支部総会を実施する。

◆第4号議案「平成28年度予算(案)」

◆収入11千87万4千704円(当年度収入②⑤⑥540万4千500円)

◆前年度繰越額547万204円 ②会費収入348万円 ③寄付金収入100万円 ④事業収入42万4千円 ⑤雑収入50万500円

◆支出605万4千200円

◆事業費262万5千円 ②管理費339万9千200円 ③諸支出0 ④予備費3万円

◆次年度繰越額482万504円

◆【第5号議案】役員交代(4月20日付)

◆新任副会長 塚本修由(空)、理事役 塚本修由(空)、理事役 森本澄男(陸)、沼南支部長 中山忠正(陸)、長生支部長 幸治昌秀(空)

◆新任副会長 塚本修由(空)、理事役 大瀬戸功(海)、日向錦次郎(海)、三浦洋(海)、沼南支部長 満園 哈爾男(海)、長生支部長 森本澄男(陸)

◆会員(特別会員を含む)は、空自習志野分屯基地を研修し、空自防空部隊の現状について理解を深める。

◆入会後10年を経過しかつ75歳未満の終身会員には、会運営協力費として年間3千円の寄付をお願いする。

◆丸大食品及びセレモア関連事業を引き続き実施するとともに、本部施策による収益事業の推進に努める。この際、収益の一部を協力支部に還元する。

◆各支部長は、年1回、支部会員を招集し支部総会を実施する。

◆第4号議案「平成28年度予算(案)」

◆収入11千87万4千704円(当年度収入②⑤⑥540万4千500円)

◆前年度繰越額547万204円 ②会費収入348万円 ③寄付金収入100万円 ④事業収入42万4千円 ⑤雑収入50万500円

◆支出605万4千200円

◆事業費262万5千円 ②管理費339万9千200円 ③諸支出0 ④予備費3万円

◆次年度繰越額482万504円

◆【第5号議案】役員交代(4月20日付)

◆新任副会長 塚本修由(空)、理事役 塚本修由(空)、理事役 森本澄男(陸)、沼南支部長 中山忠正(陸)、長生支部長 幸治昌秀(空)

◆新任副会長 塚本修由(空)、理事役 大瀬戸功(海)、日向錦次郎(海)、三浦洋(海)、沼南支部長 満園 哈爾男(海)、長生支部長 森本澄男(陸)

## 入隊・入校予定者激励会

3月6日(日)、13時半から四街道市文化センターにおいて、父母、在隊部隊指揮官、市長・町長、国会議員、県議・市議、高校・中学校長等が見守る中、今春、県内から一般幹部候補生、航空学生、防衛大学校学生、一般曹候補生、高等工科学学校生徒、自衛官候補生として入隊・入校する若人合計約400名のうち211名が参加、その門出をお祝いした。会は千葉県自衛隊父兄会会長 渡邊昭氏が実行委員長となり、千葉県防衛団体連絡協議会等自衛隊協力5団体が共催、自衛隊千葉地方協力本部が協力して開催され、第一部で激励行事、第二部で習志野・下志津・木更津各駐屯の和太鼓チームによる太鼓演奏が行われた。県隊友会から支部長、理事役が参加、河野県会長が代表者に記念品を贈呈した。



司会の横洲かおるさんから一人一人紹介され国防の任に就く後輩の姿に胸が熱くなった。

先輩隊員のトーク

謝辞

櫻田衆議院議員祝辞

## 平成28年1・2月入会者

祝入会【敬称略・順不同】

入会深謝・隊友会の発展にご協力を

- 【安房】 木村 昇(空)
- 平本 勝秋(空)
- 【野田】 北島 隆宏(陸)
- 居川 翔太(陸)
- 大草 久幸(海)
- 井 恵治(陸)
- 【山武東金】 永島 正義(海)
- 高橋 敦彦(陸)
- 櫻田 博美(陸)
- 富田 聖一(陸)
- 柏原 裕正(空)
- 柏谷 俊之(陸)
- 榎 誠一(陸)
- 高橋 照男(陸)
- 金井 泉寿(陸)
- ※訂正 12月に船橋支部入会の「濱野 誠」様は、「濱島 誠」様の間違いでした。

## 印西支部防衛講演会

宇都隆史参議院議員を招き講演会及び懇親会を開催



1月30日(土)、印西市内ホテルにおいて13時から開始。講演会には小川義人市議会議長、金丸和史市議、中沢俊介市議、金久沢俊介市議、金久

悦規老連会長、田中正三元隊友会長、幸孝次父兄会印西支部長、佐瀬知千協力会事務局長、武藤弘月刊千葉ニュータウン発行人、村越房子北総ライフスポーツ発行人など支部等会員24名、市民50名が参加した。

宇都議員は講演(演題「我が国の安全保障政策」)で防衛予算が少ない中、更に人件費・国債支払等がかさみ年間に使用できる金額が少ない事を強調し、金を掛けないで今出来ることは米国との連携強化・安保関連法制の整備等が急務、又徴兵制は憲法上から、予算の面から絶対不可能等々昨年の法案可決成立に関連する問題も含め説明、中国の脅威には日・米・豪・印の四方国による連携体制を強化、尖閣諸島問題等々非常に分かり易く説明され、出席された市民も「大変良い話だった」、「とても分かり易く説明され、よく理解できた」、「大変面白く時間があっという間に過ぎた」、「もう少し話を聞きたかった」等々の声がかれた。

引き続き、14時10分から白須賀貴樹衆議院議員、金丸和史市議、中沢俊介市議、多田育民白井市議、藤尾秀治元県隊友会会長、村越房子北総ライフスポーツ発行人など支部等会員16名、市民30名の参加を得て、懇親会を開催した。白須賀議員から挨拶を頂き懇談に入り、参加者は、宇都議員と直接、話をでき、大変満足な様子であった。また、宇都議員の若さ・人柄・行動力等にも魅力を感じていたようである。

## 北方領土返還要求全国大会に参加

2月7日(日)の北方領土の日、11時から13時まで東京の日比谷公会堂で北方領土返還要求全国大会実行委員会の主催で元島民、各政党代表、返還要求運動連絡協議会幹事団体、同構成団体(隊友会もこれに加入)などが参加して開催。大会は2部構成で行われ、第一部「トーク」では、元島民、元島民2世、石川NHK解説員が領土返還への思い、提案を述べた。

第二部「式典」では、照屋仁士大会実行委員長の大会挨拶に続き、安倍晋三内閣総理大臣、岸田文雄外務大臣が北朝鮮のミサイル発射直後の情勢緊迫時にもかかわらず予定通り出席、安倍総理は、挨拶の中で「首脳同士の対話を重ね、粘り強く解決を目指す」と述べられた。続いて元島民、元島民2世、3世、全国市議会議長会、日本青年会議所、大学生、高校生など各界各層代表が、それぞれの立場で運動を継承し、高める決意を述べた。

防衛関連団体では、連絡協議会幹事団体の一員として伊藤康成全国自衛隊父兄会会長が出席、同会理事の岡本氏は、返還が実現するまで執拗に署名運動を続ける決意を述べた。最後に島尻安伊子北方担当大臣が返還実現への決意を述べ、早稲田大学駒志会の学生が平成28年大会アピールを朗読、公会堂を埋めた来場者全員で承認、閉会した。

北方領土の日11855年2月7日、日露両国は、伊豆の下田で調印した「日露通好条約」において両国間の国境を択捉島とウルフ島の間と定めた。この条約には、択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の北方四島が日本の領土であることが明記されている。この歴史的事実を重んじ、政府は1981年1月に北方四島が平和友好裡に返還されることを念じ、2月7日を「北方領土の日」に制定した。(大会配布資料から転記)



安倍総理挨拶

第1部 トーク

岡本父兄会理事決意表明

照屋大会実行委員長挨拶